

しせき しょうどうかんがいせき 史跡 正道官衙遺跡

【遺跡の概要】

8世紀前半から9世紀前半の大型の建物群が方位をあわせて計画的に配置されており、その規模や構造から、奈良時代の山背国久世郡の郡役所跡と推定されています。四方に庇をもつ最も大きな建物が、中心建物である^{ちようや}庁屋と考えられています。その後方に^{そえや}副屋と^{しょうそう}正倉、前面に^{あずまや}東屋と^{むかひや}向屋、南に門を配置しています。

【整備内容】

^{ちようや}庁屋、^{そえや}副屋、^{なんもん}南門は柱や梁・^{はり}桁^{けた}などの骨組みを復元し、^{あずまや}東屋、^{むかひや}向屋、^{しょうそう}正倉は柱跡の平面表示を行っています。

【行き方】

JR城陽駅から徒歩約10分
駐車場はありません。



